

梅雨明けの大阪南港

事務局長 池田良穂

この半月ほど、会誌 Cruise & Ferry の原稿書き、編集作業に追われて、ほとんど外出せずに自宅で机に向かう毎日でしたが、新造客船紹介ページの「フェリーふくおか」の写真が横向きの 1 枚だけしかなかったので、違うアングルの写真を撮りにでかけることにしました。

また、欧州の船友達からは、オレンジフェリーの停泊中以外の写真が欲しいと言われていたのですが、夜行フェリーなので無理と言い続けていたのですが、夏の間なら撮れるだろうとの矢の催促もあり、同フェリーの入港時の写真も撮ることにして、4 時半に自宅をでて南港にでかけました。梅雨も明けて天気はよく、早朝の港は爽快でした。

5 時過ぎから「フェリーきたきゅうしゅうⅡ」、「おれんじえひめ」の入港があり、その後「さんふらわああいぼり」、「さんふらわあさつま」が入港、最後に「フェリーふくおか」が入港してきました。



大阪南港の関門を通過する名門大洋フェリーの「フェリーきたきゅうしゅうⅡ」です。新門司からの到着です。



東予から到着した四国開発フェリーの「フェリーえひめ」です。長さが 200m 未満ぎりぎりの瀬戸内マックス型です。



続いて、別府からの「さんふらわああいぼり」が入港してきました。ちかちか LNG 燃料の新鋭フェリーと交代になります。



「さんふらわああいぼり」は、ATC 前で一回転して着岸するので、いろいろなアングルからの写真を撮ることができます。



鹿児島島の志布志からの「さんふらわあさつま」が入港してきました。



「さんふらわあさつま」と「さんふらわああいぼり」が並んで着岸しました。



次のフェリーの入港まで、少し時間が空いたので、大阪港の関門の見える元海洋博物館の近くの岸壁に移動しました。某知事の思いつき行政で、大阪に唯一の海洋博物館も廃墟になっています。大阪港には韓国・中国へのフィーダーコンテナ船が出入りしていました。



南港フェリーターミナルに着岸する「おれんじえひめ」です。同船は岸壁の前で一回転して出船状態で停泊します。



最後に新造フェリー「フェリーふくおか」の入港です。新門司までの夜行便です。早く乗りたい!!来週までには乗ろうと、心に決めました。



会誌の新造客船紹介のページにどの写真が選ばれるかは、デザイナーの中山さんの判断次第です!!